

ホラリー占星術

実践マニュアル

ルール編

SHINKAI SEKIKAWA



## ■ホラリー占星術とは？

ホラリー占星術は、ある物事や出来事の『波』を読む占いです。質問を受けた時の天体の配置が、その波の経過や行く末を暗示していると占いです。

あの人と結婚できるだろうか？という『波』、今度の就職試験に受かるだろうか？という『波』、財布を落とした、戻ってくるだろうか？などの身近な『波』から、夫と私はどちらが先に死にますか？といった長い年月を必要とする『波』などにも、チャート図はその答えを示していると考えます。

恋愛・結婚、就職、入学、転職、独立、旅行、不動産、転居、株式売買、裁判、病気、紛失物、失踪、などの疑問を鑑定していきます。

### ◆占い方

占星術師（占う人）がその質問の内容を理解した時間と場所で占います。質問者に質問が浮かんだ時間や、メールを送った時間は関係ありません。質問が発生したときは、まだその質問は、天に向かって投げかけられて彷徨っている状態で、占い師が質問を理解し、チャート図に映し出すことで、ようやく彷徨っていた質問が形になり、占断が始るという流れです。

### ◆ホラリー占星術に向いている質問

- ・あの人と付き合えますか？
- ・あの人は私のことどう思っていますか？
- ・あの人と結婚できますか？
- ・あの人と別れられますか？
- ・あの人は浮気をしていますか？
- ・私は結婚できますか？
- ・いつごろ、どんな人と出会いがありますか？
- ・メールの返事は来ますか？
- ・貸したお金は返ってきますか？

- ・転職してもいいですか？
  - ・旅行は楽しめますか？
  - ・通販の買い物は満足できるものになりますか？
  - ・試験に受かりますか？
  - ・この家を買ってもいいですか？
  - ・ペットがいなくなった、帰ってきますか？
  - ・保険証を失くしました、どこにあるかわかりますか？
- (※紛失・失踪関係は的中率が低い)
- ・体調が悪い、何か重大な病気ですか？
  - ・夫のガンは治りますか？
- 上記のように、質問が具体的であることが求められます。

#### ◆ホラリーに適さない質問

「私は幸せになれるですか？」「どうしたら幸せになれるですか？」

このような、具体性のないあいまいな質問には回答しにくい性質があります。また、今現在は健康なのに、「私はこの先ガンになりますか？」とか、「いつか事故にあいますか？」など、まだ起きていない出来事や、漠然とした不安感に応えるのは難しくなります。

#### ◆質問とハウスの関係

質問によって注目するハウスが違ってきます。

●質問者（カレント）：ASC・1ハウス

●恋愛の質問：7ハウス

●結婚の質問：7ハウスと10ハウス

- 仕事の質問：10ハウス
- 職場の同僚：7ハウス
- 親しい友人の質問：11ハウス
- 兄弟姉妹の質問：3ハウス
- 近隣の質問：3ハウス
- 母親のこと：10ハウス
- 父親のこと：4ハウス
- 株や投資の質問：8ハウス
- 引っ越し・不動産の質問：4ハウスと7ハウス
- 失くし物の質問：2ハウスか4ハウス
- 子供に関する質問：5ハウス
- 病気の質問：チャート図によるが治療は10ハウス、死は8ハウス
- ペットに関する質問：6ハウスか12ハウス
- 従業員に関する質問：6ハウス
- 勝負ごとに関する質問：10ハウスと7ハウス

### ◆イベントチャート

出来事が起きた日時と場所でチャートを出します。

例えば、コンサートは成功するか？の場合、コンサートが行われる場所と開催時間でチャートを立てる方法です。この試合に勝つか？お店の営業はうまくいくか？など、それらが行われる日時と場所が必要となります。

### ◆イレクシオンチャート

吉日選びです。

入籍する日や結婚式をとり行う日、引っ越し、開業、開店、会社登記をする日時など、あらかじめ目的が決まっていて、より良い日を選んでスタートしたいと望むときに役立つ技法となります。月の満ち欠けでダイエットを行うなども、イレクシオンの一つとなります。

### ◆スポーツホラリーチャート

ひいきのチームは勝つか？といった質問に対応します。

やはり質問を受けた時間と場所で占う方法ですが、応援するチームや応援する選手がはっきりしていないと惑星の選択ができないので占えません。何となくどっちが勝つか知りたい、といった場合、チームの選択が難しいので、占うのに苦労します。賭け事の盛んなイギリスではスポーツホラリーも盛んなようですが、日本ではあまりなじみがありません。

選挙などの勝ち負けにも使えます。

## ◆ホラリーのルール

### ●問われない質問には答えない

チャート図に現れているからと言って、聞かれていないことまで詳細に応えるのは、質問者を傷つけたり、質問者との間に誤解を生むことになりかねないので、注意を促しています。ボナタナスは、質問を持ち込む人がどのような意図なのかを注意しろと書いているので、勝手な推測もいけないし、尋ねられたこと以外、軽々しく発言するのもよくないということです。

### ●移動中は質問を受けない

ホラリーは占う側が質問を受け理解した瞬間の場所と時間で占うので、車や電車などで移動中は場所の特定がしにくく、チャートが作れません。

### ●月はボイドでも判断できる

質問の内容によって、月のボイドが判断に影響する場合と、そうでない場合があります。昔のように、ボイドだからでないということはありません。

### ●ハウスの形式

通常、ネイタル診断の場合はプラシーダス法を使いますが、ホラリー占星術ではレギオモンタナス法を使います。この二つの違いは、時間分割法と、空間分割法で、プラシーダス法が時間分割、レギオモンタナス法が空間分割となります。時間分割法は心理的なものを読み取るのに適しており、レギオモンタナスの空間分割法は事象的なものを読み取るのに適しているため、ホラリー占星術ではレギオモンタナス法を使います。

### ●5度前ルール

ハウスカスプの5度前は、次のハウスに属するという考え方です。

### ◆ホールサイン方式

古典で使われている方式で、ハウスカスピが射しているサインを、そのハウスとみなす方式です。実際チャートを読むときは、ホールサイン方式に徹しているわけではありませんが、質問の内容やチャート図全体の星の配置具合などを加味しながら判断していきます。インド占星術はホールサイン方式を使っています。



## ◆鑑定の基本作業

### ■最初にチャート図にある事実を確認をします

- ① ASC のサイン
- ② 惑星のサインや度数、ハウスの確認
- ③ ASC のロードと月の位置確認
- ④ 質問対象となるハウスとロードの確認
- ⑤ エッセンシャルディグニティ表の作成
- ⑥ アクシデンタルディグニティ、デビリティも確認
- ⑦ 月の動きの確認
- ⑧ カレントのロードや、質問対象の惑星のアスペクトの確認
- ⑨ トランスファーオブライイトや、コレクションオブライイトはないか？
- ⑩ エフェメリスで、逆行や留などの惑星の動きの確認
- ⑪ アンティッションの確認
- ⑫ リセプションの確認
- ⑬ アワールーラーの確認
- ⑭ アラビックパーツの確認
- ⑮ サインが変わる直前・直後の惑星
- ⑯ 惑星のセクト
- ⑰ 恒星のチェック

## ◆鑑定の基本作業

< 2 >

### ① ASCのサイン

ASCのサインがチャート全体に与える影響

・カーディナルサイン： ♈ ♉ ♊ ♋

物事が、活動的、急ぐ、早く変化するなどの傾向があります。

・フィクスドサイン： ♌ ♍ ♎ ♏

物事が、変わらない、ゆっくり、頑なななどの傾向があります。

・ミュータブルサイン： ♐ ♑ ♒ ♓

物事が、二重性、優柔不断、行ったり来たりなどの傾向があります。

### ②惑星のサインや度数、ハウスの確認

役割が不明の惑星やハウスもあるが、度数の確認はチャート図全体の把握に役立ちます。7つの惑星の度数を把握できる表などを作っておき、そこに書き込むようにすると、一目でどの惑星からセパレートし、どの惑星にアプローチしようとしているのかがわかります。例えば下のような表に、惑星とサインを書き込みます。同じ度数に惑星が置かれることがありますので、マス目は3つぐらい用意しておくといいでしょう。

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
							☉					♃				♂	♀		♀					♃					
							♋					♋				♎	♏		♏					♋					
																♎													
																♏													

## ◆鑑定の基本作業

< 3 >

### ③ ASC のロードと月の位置確認

ASC のロードは質問者であるカレントを表し、月はその共同表示星で示されることが多く、とても重要な惑星です。ASC のロードが、ASA からアスペクトを作れない 6 ハウスや 8 ハウスや 12 ハウスに入っている場合、ASC から見えない位置にあることから、ロードの役割の主たる表示星を月にすることもあります。

また、ASC のロードや月の入っているハウスは、カレントの思いが出ていることもあります。例えば就職のことを気にかけている場合、10 ハウスに ASC のロードや月が入ることが多くあるなどです。

### ④ 質問対象となるハウスとロードの確認

恋愛なら 7 ハウス、仕事なら 10 ハウス、子供のことなら 5 ハウス、お金のことなら 2 ハウス、不動産のことなら 4 ハウス、学問のことなら 9 ハウス、死にかかわる事なら 8 ハウス、紛失物なら 2 ハウスか 4 ハウス、父親は 4 ハウス、母親は 10 ハウス、兄弟姉妹は 3 ハウス、親しい友人は 11 ハウス、近隣は 3 ハウス、悪い噂話は 12 ハウス、使用人は 6 ハウス、など、質問によって対象となるハウスが違ってきます。(ハウス早見表を参照ください)

### ⑤ エssenシャルディグニティ表の作成 (表を最終頁に作る)

エssenシャルディグニティは、惑星の品格とか品位といった惑星の本質を表します。また、リセプションや他の惑星との関係性を知るためにもこの作業は必須です。

## ◆鑑定の基本作業

< 4 >

### ⑥アクシデンタルディグニティ、デビリティも確認

アクシデンタルディグニティは、その惑星が今置かれている環境や状況などをみるものです。（本質はエッセンシャルディグニティ）表には、点数が書かれていますが、あくまでも参考程度で正確に点数を出す必要ありません。

### ⑦月の動きの確認

月は非常に重要なメッセージを持つ惑星です。何からセパレートし、何にアプローチしてくのか？は、必ず把握しておく必要があります。

### ⑧カレントのロードや、質問対象の惑星のアスペクトの確認

質問を読み解くカギとなる重要な惑星の動きは正確に把握します。何からセパレートし、何にアプローチしてくのか？アスペクトの邪魔をする惑星はないか？などを確認していきます。

### ⑨トランスファー・オブ・ライトや、コレクション・オブ・ライトはないか？

この技法は、ホラリー占星術では欠かせない星の動きとアスペクトの関係です。一見、惑星どうしのアスペクトはないように見えても、他の惑星が別な惑星の光を運んだり保持したりして、アスペクトの仲介役をすることがあるので、必ず詳細にチェックする必要があります。

### ⑩エフェメリスで、逆行や留などの惑星の動きの確認

アスペクトを作るはずが、直前で逆行などをしてアスペクトが完成されない

## ◆鑑定の基本作業

< 5 >

ことがあ時々あります。逆行や順行の切り替わり、留などの把握は非常に重要です。

### ⑪アンティッションの確認

アンティッションは、命にかかわる事以外は、コンジャンクションと同じような意味で作用してきます。コントラアンティッションは、オポジションと同様の作用をすると読みます。

### ⑫リセプションの確認

質問に関係する惑星たちのレシーブによる関係性、ミューチュアルリセプションはあるか？アスペクトをする時の度数におけるリセプションの変化などで、チャートの解釈は変わってきます。

### ⑬アワールーラーの確認

アワールーラーとチャート図の整合性が取れていない場合、質問者が本当に聞きたいことを聞いていない可能性もあるので、慎重にチャート図を判断していく必要があります。

### ⑭アラビックパーツの確認

特に恋愛や結婚の質問の場合は、パートオブマリッジ（ASC+DESC-金星）の作用は影響してきます。

## ◆鑑定の基本作業

< 6 >

### ⑮サインが変わる直前・直後の惑星

重要な惑星がサインの変わり目に位置しているときは、要注意です。サインが変わると惑星に大きな変化がありますので、あとどのぐらいで変わるのか、もしくは、どのぐらい前に変わったのか、それによってリセプションはどう変化するのかなどの把握はとても重要となります。

### ⑯惑星のセクト

昼の惑星、夜の惑星などの基礎的な状況把握は、見逃せません。(惑星早見表を参照ください)

### ⑰恒星のチェック

恒星と惑星が、同じ度数でコンジャンクションしていると、その惑星に影響があるとみまます。

#### ●特に6つのロイヤルスターは吉影響が強い

\*アルデbaran (双子 10° 04')

\*ポルクス (蟹 23° 30')

\*レグルス (乙女 0° 07') 《アクシデンタルディグニティ+6点》

\*スピカ (天秤 24° 07') 《アクシデンタルディグニティ+5点》

\*サウススケール (蠍 15° 21')

\*アンタレス (射手 10° 03')

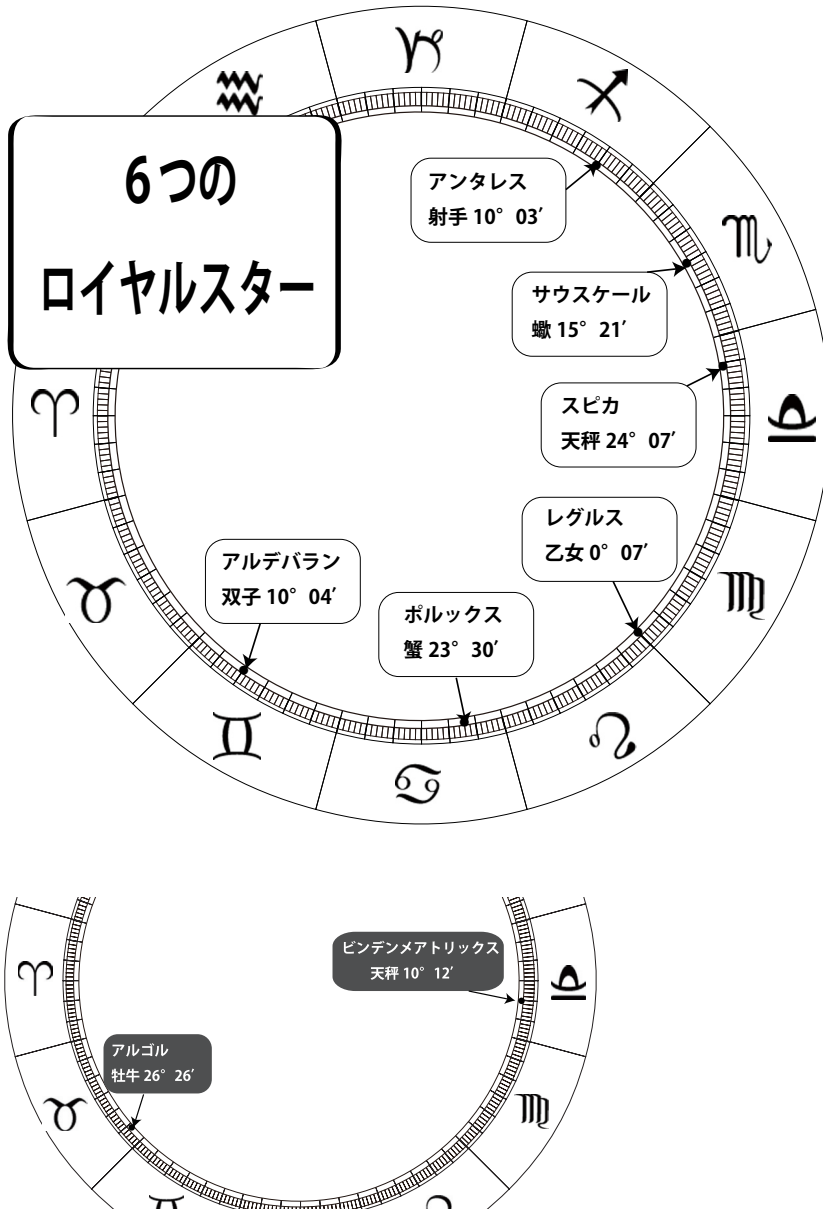
#### ●トラブルを警戒する恒星の代表

\*アルゴル (牡牛 26° 26') 《アクシデンタルディグニティ -5点》

\*ビンデンメアトリックス (天秤 10° 12') 《恋愛や結婚に影響》

# ◆鑑定の基本作業

< 7 >







# ◆アワールーラー

< 1 >

## ■ ASC とアワールーラーの一致点

- ① ASC のロードと、アワー・ルーラーが同じ。
- ② ASC のロードのエLEMENTと、アワー・ルーラーのエLEMENTが同じ。
- ③ ASC のサインのエLEMENTと、アワー・ルーラーのエLEMENTが同じ。
- ④ ASC のトリプリシティと、アワー・ルーラーが同じ。
- ⑤ ASC のロードと月が、強いアスペクトで結ばれている。
- ⑥ アワー・ルーラーがアングルにあり、問われた問題に対して深い関係を持っていて、ASC と深い関係のアスペクトやアンテッションならば、問題ない。
- ⑦ アワー・ルーラーと、ASC のロードのリセプション（アスペクト+レシーブ）があれば、質問者が普通に質問をしているとみてよい。

◆ドロセウスのトリプリシティ			
ELEMENT	昼	夜	関与星
火	☉	♃	♃
地	♀	♄	♂
風	♃	♀	♃
水	♀	♂	♄

※アワールーラーはハウスシステムをプラシーダスにすると良いです。

※合わない場合は、質問者が本当に聞きたいことを聞いていない可能性があるため、慎重に判断をしていきます。質問者が必要な何かを隠している場合もあるし、本当に聞きたいことが本人もわかっていないこともあります。勝手な推測はせず、わからないことや気になることはカレントにきくことが大事となります。また、途中からカレントの気持ちに変化が起きることもあります。

# ◆アワールーラー

<2>

## 【アワールーラーとは？】

アワールーラーとは、その曜日のその時間（太陽のある場所）を支配する惑星のことを言います。アワールーラーは約一時間ごとに変化しますが、正確には、『日の出から日没時間』『日没から次の日の出時間』をそれぞれ12分割した時間になります。従って昼と夜の長さが極端に違う夏や冬は、アワールーラーが支配する時間の長さも変わってきます。

惑星の配置方法は、カルディアンオーダー（土木火太金水月）順になされます。この順に配置していくと、各曜日の日の出の時間は、その曜日の惑星が支配する流れとなります。

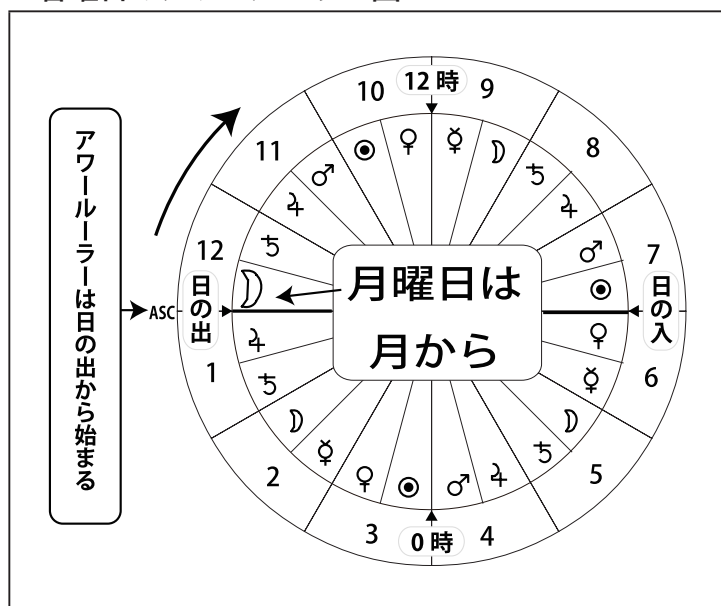
月曜日の日の出の時間帯は月が支配。火曜日の日の出の時間帯は火星が支配。

水曜日の日の出の時間は水星が支配。木曜日の日の出の時間は木星が支配。

金曜日の日の出の時間は金星が支配。土曜日の日の出時間は土星が支配。

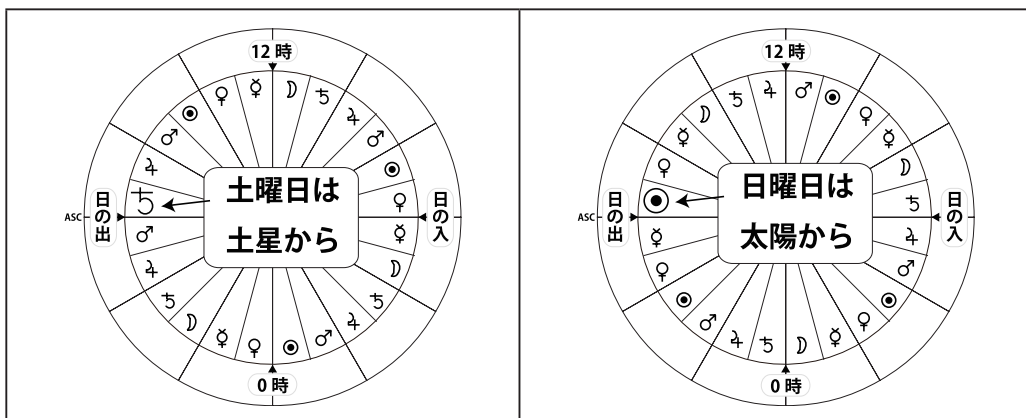
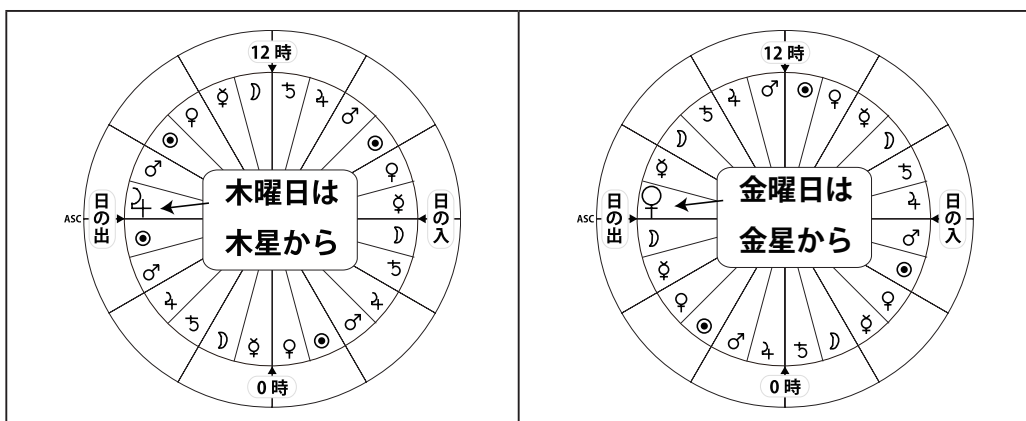
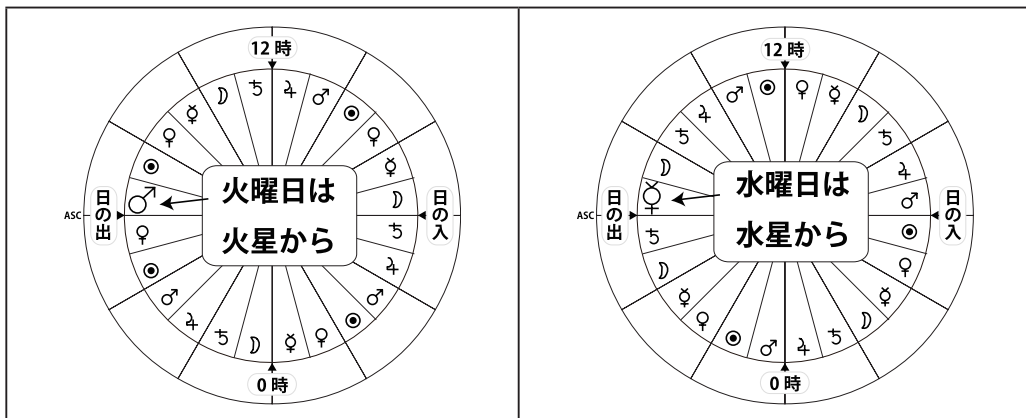
日曜日の日の出時間は太陽が支配。

## ■各曜日のアワールーラー図



# ◆アワールーラー

< 3 >



## ◆タイミング

※タイミングは、『早い・中間・遅い』の三つに分けて判断します。

※アプローチする惑星で判断していきます。

### ●通常のタイミング（△は中間）

	カーディナル	フィクスト	ミュータブル
アングル	<b>早い</b>	△	△
サクシード	△	△	△
ケイダント	△	<b>遅い</b>	△

### ●医療のタイミング（△は中間）

	カーディナル	フィクスト	ミュータブル
アングル	△	<b>遅い</b>	△
サクシード	△	△	△
ケイダント	<b>早い</b>	△	△

### ●一般的な時間の割り振り（あくまでも目安、質問の内容によって臨機応変に）

分	時間	日	週	月	年
			仕事・恋愛・結婚ほか		
メールの返事など					
	探し物など				
		病気など			

## ◆太陽の影響

### ■コンバスト：太陽が惑星を最悪の状態にする場所

①オーブの範囲は、17度（8.5度＋8.5度）

②太陽より遅い惑星（火星・木星・土星）

太陽が接近してくる8.5度から太陽が離れる6度までコンバスト。

③太陽より早い惑星（金星・水星）

太陽に接近6度から、太陽から離れる8.5度までコンバスト。

④月は接近も離れるときも8.5度までコンバスト。

※いずれも、**3.5度以上セパレート**すれば最悪状態を脱出。

### ■コンバストの解釈いろいろ

- ・チャート図の中の主たる惑星がコンバストは、最悪の状態を表します。
- ・虐待などを疑う場合、DVを受けている可能性があります。
- ・不動産関係の質問で、物件を表す4ハウスのロードがコンバストはその物件は訳ありか何らかの問題があります。
- ・事業の低迷に悩む場合、カレントがコンバストは、すぐに閉じたほうがいいと解釈します。
- ・転職先がコンバストの場合は、その会社はやめたほうがいいとなります。
- ・借金返済の質問で、8ハウスのロードがコンバストは、相手のお財布が空っぽを意味します。

## ◆太陽の影響

- ・探し物の質問で、そのロードがコンバストの場合は、太陽に隠されているのでコンバストが終わった時に見つかるか、または壊れていると判断します。
- ・恋愛であれば、その恋愛そのものが無くなる可能性を表します。
- ・賭け事だったら、賭け事そのものが無くなる事を意味します。
- ・契約の場合も、出来なくなります。
- ・カレントがコンバストの場合は、本人が原因で成り立たなくなります。相手がコンバストの場合は、相手が原因で成就しません。

### ■コンバストより弱い太陽が悪影響を及ぼす場所

◆アンダーザサンビームス 太陽の 30 度（片側 15°）以内

◆バイアコンバスタゾーン 天秤 15 度～蠍 14.59 度

◆コンバスタウエイ：太陽と 180 度

### ■太陽が惑星を最高の状態にする場所

◆カジミ：太陽の 17 分前後。

### ■その他

◆太陽の視直径は 32 分。

◆1 度は、太陽が 2 個ぐらい。

## ◆月のボイド

■質問が期間限定か、無期限かでサインを越えるかどうかが決まる。

### ①期間限定の質問の場合：サインを越えない

- ・ いついつの試験に受かりますか？
- ・ 応募作品は受賞しますか？
- ・ 今度の婚活パーティーでいい人に出会えますか？
- ・ バーゲンまでにこの商品は売れてしまいますか？
- ・ いついつまでにメールの返事はきますか？

### ②期間限定なし：サインを越えて判断

- ・ 私はいついい人に出会えますか？
- ・ いつごろ結婚できますか？
- ・ あの人とデートできますか？
- ・ メールの返事は来ますか？

※サッカーの試合のように時間が決まっている場合は、サインを越えない。  
時間制限のない試合は、サインを越えても良い。

## ◆アンティッション

### ■アンティッション



※アンティッションはコンジャンクションと同じような解釈をする。

- ・ 射手—山羊
- ・ 水瓶—蠍
- ・ 魚—天秤
- ・ 牡羊—乙女
- ・ 牡牛—獅子
- ・ 双子—蟹

### ■コントラアンティッション



※コントラアンティッションはオポジションと同じような解釈をする。

- ・ 魚—牡羊
- ・ 水瓶—牡牛
- ・ 山羊—双子
- ・ 射手—蟹
- ・ 蠍—獅子
- ・ 天秤—乙女

※人の命に関することには使えない。(妊娠や出産、人の死など)

### ■惑星の度数を足した合計が 30 度になること

■度数の組み合わせ									
0.0 ~	29.00 ~	6.0 ~	23.00 ~	12.01 ~	17.00 ~	18.01 ~	11.00 ~	24.01 ~	5.00 ~
1.0 ~	28.00 ~	7.0 ~	22.00 ~	13.01 ~	16.00 ~	19.01 ~	10.00 ~	25.01 ~	4.00 ~
2.0 ~	27.00 ~	8.0 ~	21.00 ~	14.01 ~	15.00 ~	20.01 ~	9.00 ~	26.01 ~	3.00 ~
3.0 ~	26.00 ~	9.0 ~	20.00 ~	15.01 ~	14.00 ~	21.01 ~	8.00 ~	27.01 ~	2.00 ~
4.0 ~	25.00 ~	10.0 ~	19.00 ~	16.01 ~	13.00 ~	22.01 ~	7.00 ~	28.01 ~	1.00 ~
5.0 ~	24.00 ~	11.0 ~	18.00 ~	17.01 ~	12.00 ~	23.01 ~	6.00 ~	29.01 ~	0.00 ~



## ◆惑星の良い状態

< 1 >

### 【良い状態と判断される時】

①順行

②惑星がアドバンテージス (有利) なハウスに入っている。

1、10、4、7、11、9、5の七つ。

③ベネフィックと、60度・120度・0度を作っている時。リセプションがあれば90度も良い。90度は、多少もめごとは起こすが最後は良い結果をもたらす。

④惑星が自身のドミサイル、又は、自身のイグザルテーションにあるとき。

⑤アングルにある惑星からレシーブを受けていて、それに近付くか、近付かれる時。

⑥惑星がドラゴン・ヘッドと3度以内でコンジャンクションしている時。  
アプローチの形の方がなお良い。

⑦コンバストから離れつつある時。太陽より動きの遅い惑星は、太陽が過ぎ去っていく形、動きの速い惑星は太陽から去る形が良い。ただし逆行に注意。  
\*最悪の状態から抜け出したところなので、良いとは言い切れないところがあります。

⑧太陽や月と120度の角度を取っている時。

⑨惑星が2つのベネフィックに包囲されるか、光によって囲まれている時。

## ◆惑星の良い状態

< 2 >

⑩リセプションを伴わせて太陽とコンジャンクションしている時。(コンバストにならない)

⑪カジミとなっている時は最高。太陽の16分前後。

\*特にアプローチの形が良いです。

## ◆惑星の悪い状態

< 1 >

### 【悪い状態と判断されるとき】

#### ①惑星がコンバストの時。

太陽より動きの遅い惑星にとって、太陽が近付いてアンダー・ザ・サンズ・ビームから太陽のオーブ 15 度内に入ると、かなり悪くなり始めます。太陽が去りその後ろになると、和らぎます。太陽より動きの速い惑星達にとっては、太陽に近付く時にコンバストの範囲内(8.5 度)に入ると障害が生じることが多く、コンバストを抜け 6° 離れれば最悪を免れます。惑星の逆行の時も同様に判断していきます。

#### ②惑星がドラゴン・テールと片側 3 度以内でコンジャンクションしている時。

\*テールは動物を取る罠に例えられています。

#### ③惑星が太陽とのオポジションになっている時。

まるで灼熱の道を歩いているようなもので、コンバスタ・ウェイ(焼けた道)と表現されます。暑さで力が弱められている状態で、月が最もその悪い影響を受ける惑星です。王(太陽)に完全に王女(月)が支配されている状態となるからで、満月は月が弱り切っています。ちなみに月はバイアコンバスタゾーンという力の弱まる場所ももっています。(天秤座 15°~さそり座 14.59°)

④惑星が、2、3、6、8、12 ハウスなど、不利な場所とされている所にある時。\*但し、月は 3 ハウス、火星は 6 ハウス、土星が 12 ハウスなど、ジョイとなる場所では妨害されません。

⑤惑星がマレフィックのどれか(あるいは両方と)と、リセプション無しで、180 度か、90 度か、0 度となっている時。

⑥惑星が 3、6、8、12 ハウスとアスペクトしていて、互いにリセプション

## ◆惑星の悪い状態

< 2 >

を伴わせていない時。

⑦惑星が自身のデトリメントや、フォールにあるとき。

\* デトリメントよりも、状況によってはフォールの方が悪い場合もあります。

⑧惑星がペレグリンで、ディスポジターも同時に悪い場合に、真に悪いとされる。

\* ディスポジターが良いと、良い状況に置かれ、そのディスポジターとアスペクトしていれば、もっと状況が改善されます。

⑨惑星が2つのマレフィックによって包囲される。

\* どちらか一つからセパレートし、もう一つものに近づいている状態で、2つにリセプションされることなく囲まれている時は良くありません。

⑩惑星が留になっている時。

\* 順行から逆行になる場合と、逆行から順行に戻る場合のどちらの留も同じように最も惑星の力が無い時となります。逆行は、逆行が始まってしまえば特に悪さはしないとされていますが、恋愛の場合良くないと判断することもあります。失くし物や失踪などの場合、逆行は戻ってくる印となります。

⑪惑星が彼自身のドミサイルの12番目のサインに入っている時。

\* 月なら蟹のサインから数えて12番目の双子のサイン、水星なら双子か乙女のサインから数えて12番目の牡牛か獅子のサインなど。

## ◆サイン早見表

サイン	セクト	体質	色	身体の部位	方位
 Aries	昼	H&D	白、赤	頭、顔、目、鼻、耳、口	東
 Taurus	夜	C&D	白、レモン色	のど、首、耳、甲状腺、舌、下あご	南
 Gemini	昼	H&M	白、橙、赤	肩、腕、手、指、肺、呼吸器、神経	西
 Cancer	夜	C&M	緑、あずき色	胃、すい臓、乳房、胸、肝臓	北
 Leo	昼	H&D	赤、緑	心臓、脊髄、胃、脇腹、肋骨、背中	東
 Virgo	夜	C&D	黒、青の混ざった黒	小腸、消化器官、腎臓、脾臓、下腹部	南
 Libra	昼	H&M	黒、えんじ、黄褐色、パステル	腰、泌尿器、腎臓、副腎	西
 Scorpio	夜	C&M	茶、黒	直腸、生殖器、膀胱	北
 Sagittarius	昼	H&D	黄、緑、血紅色	大でん部、もも、脚力、坐骨神経	東
 Capricorn	夜	C&D	暗色、黒、あずき色、こげ茶	膝、骨、関節	南
 Aquarius	昼	H&M	空色、青	くるぶし、ふくらはぎ、踵、静脈	西
 Pisces	夜	C&M	白、キラキラ色、ターコイズ	つま先、内分泌機能、リンパ腺	北

C = Cold    D = Dry    H = Hot    M = Moist



## ◆惑星早見表

惑星	オーブ	エレメント	セクト	原理	金属	形容	色	病気
♄ Saturn	9°	C & D	昼	凝縮	鉛	汚い 暗い	黒 暗い色 重い色	骨、歯 皮膚 右耳 脾臓
♃ Jupiter	9°	H & M	昼	拡散 拡大	錫	豪華 贅沢 大きい	ロイヤルブルー 深い青	肺、肝臓 左耳 血液 精液
♂ Mars	8°	H & D	夜	瞬間的	鉄	鋭い 炎、 攻撃	赤 橙 黄	胆汁 膀胱 男性器
☉ Sun	15°	H & D	昼	恒常的	金	何らかの長 王	金 黄 紫	生命力 心臓、脳 男性の右目 女性の左目
♀ Venus	7°	C & M	夜	愛情	銅	楽しい 可愛い きれい	空色 明るい色	腎臓 嗅覚 女性器
☿ Mercury	7°	C & D	太陽より前…昼 太陽より後…夜	表現 言語	水銀	知的 コミュニ ケーション	水 グレー	舌 神経 腕 手、指
☾ Moon	12°	C & M	夜	成育	銀	液体 変化	白、銀 淡い色	胸、子宮 腸、腹 男性の左目 女性の右目

C = Cold    D = Dry    H = Hot    M = Moist





## ◆ハウス早見表

ハウス	支配惑星	Joy	Angle Succedant Cadant	象意	身体	方角
1	ち	♀	Angle	カレント、外見、入り口	頭、顔、耳、歯	東
2	ㇿ		Succedant	カレントの所有物、財産、 カレントの弁護士	口、のど	北東
3	♂	☾	Cadant	兄弟姉妹、いとこ、隣人、 カレントの手紙、噂	肩、腕、手	
4	☉	ち )	Angle	父親、不動産、先祖、裁判の判決	肺、胸部	北
5	♀	♀	Succedant	子供、妊娠、楽しいこと、趣味、 カレントの著書	心臓、胃、脇腹、背中	北西
6	♀	♂	Cadant	ペット、従業員、部下、病気、病院、 叔父・叔母	下腹部、内臓、腸	
7	☾		Angle	パートナー、恋人、同僚、 客、取引相手、泥棒、敵	子宮、骨盤、下腹部	西
8	ち		Succedant	死、遺言、遺産、パートナーの財産、 恐れ	生殖器、膀胱、泌尿器	南西
9	ㇿ	☉	Cadant	旅、外国、宗教、学問、夢、指導者、 相手の手紙、結婚紹介所	股関節、お尻	
10	♂		Angle	仕事、成功、契約、ボス、名声、 母親、政府、裁判長	太もも、膝	南
11	☉	ㇿ	Succedant	親しい友人、友情、信頼、給料、国庫	膝から下、ふくらはぎ	南東
12	♀	ち	Cadant	秘め事、自堕落、隠れた敵、 悪い噂、刑務所、馬や牛	くるぶしより下	

## ◆サインの分類

### ◆サインの分類

●多産サイン	蟹、蠍、魚
●不妊（バーレン）サイン	双子、獅子、乙女
※アブ・マシャーは天秤、射手、水瓶を加えている	
●無口（ミュート）サイン	蟹、蠍、魚
●おしゃべりサイン	双子、乙女、射手前半
●ヒューマンサイン	双子、乙女、天秤、 水瓶、射手前半
●動物のサイン	牡羊、牡牛、獅子、 射手後半、山羊
●勇猛のサイン	獅子、射手後半
●危険サイン	牡羊、天秤、 蠍、 山羊、水瓶
●騒々しいサイン	双子、乙女、
●家庭的サイン	牡羊、牡牛、山羊

## ◆アラビックパーツ

### ◆アラビックパーツ

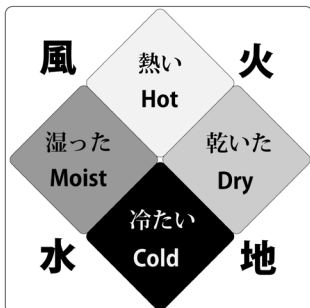
パーツ		昼生まれ	夜生まれ
Pof	Fortuna	Asc + 月 - 太陽	Asc + 太陽 - 月
結婚	Marriage	Asc + 7ハウス - 金星	
離婚	Divorce	Asc + 7ハウス - 火星	
職業	Vocation	MC + 月 - 太陽	
病気	sicknes	Asc + 火星 - 土星	Asc - 火星 + 土星
治療	Cure	Asc + 土星 - 火星	Asc - 土星 + 火星
勝利	Victory	Asc + 木星 - spirit	Asc - 木星 + spirit
死	Death	Asc + 8ハウス - 月 または 8ハウス + 土星 - 月	
魂	Spirit	Asc + 太陽 - 月	Asc + 月 - 太陽
結婚のパートナー		Asc + Des - 7ハウスのロード	

## ◆サインと惑星の気質

### ◆気質の種類

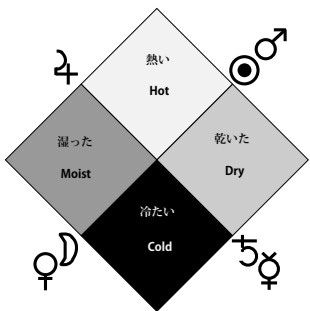
- Cold 寒 (冷たい)
- Hot 暖 (あつい)
- Dry 燥 (乾いている)
- Moist 湿 (湿めっている)

### ◆サインの気質



- ① Hot&Dry (暑くて乾いている) = 火  
\* 牡羊・獅子・射手のサイン
- ② Hot&Moist (暑くて湿っている) = 風  
\* 双子・天秤・水瓶のサイン
- ③ Cold&Dry (冷たくて乾いている) = 地  
\* 牡牛・乙女・山羊のサイン
- ④ Cold&Moist (冷たくて湿っている) = 水  
\* 蟹・蠍・魚のサイン

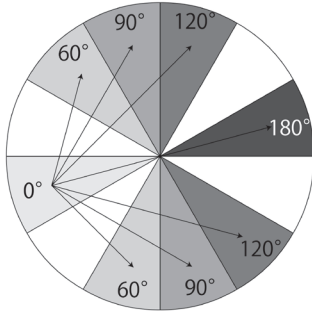
### ◆惑星の気質



- Hot&Dry (暑くて乾いている) = 太陽・火星
- ② Hot&Moist (暑くて湿っている) = 木星
  - ③ Cold&Dry (冷たくて乾いている) = 水星・土星
  - ④ Cold&Moist (冷たくて湿っている) = 月・金星

## ◆アスペクト

### ◆アスペクトの種類



- ① 0度（コンジャンクション）
- ② 60度（セキスタイル）
- ③ 90度（スクエア）
- ④ 120度（トライン）
- ⑤ 180度（オポジション）

※正確には、コンジャンクションと他のアスペクトは別となります。コンジャンクションは接合、アスペクトは見るという違いがあります。

※ 30度と150度の場所は、見えない場所（アバーション）となりアスペクトしません。

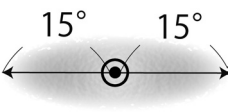
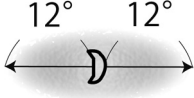


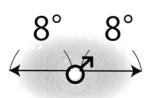
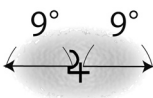

### ◆アスペクトはサイン同士の関係が基本

図形と度数	気質の違い	意味
点を作る 0度	同じ気質同士	結合、強調
六角形を作る 60度	HotかColdは同じ DryかMoistが違う	調和、成就
四角形を作る 90度	まったく違う気質同士	ゴタゴタの末まとまる
三角形を作る 120度	まったく同じ気質同士	調和、スムーズ、成就
直線で割る 180度	HotかColdは同じ DryかMoistが違う	不調和、争い、対立

## ◆惑星のオーブ

### ◆惑星のオーブ

惑星にはオーラのようなエネルギーの届く範囲があり、それをオーブといいます。アスペクトはオーブの届く範囲内作られます。

太陽	15°	
月	12°	
水星	7°	
金星	7°	
火星	8°	
木星	9°	
土星	9°	

## ◆レシーブ・リセプション

### ◆レシーブ

ホラリーを判断するときは、エッセンシャルディグニティ表（別紙）をもとに、下表のような惑星のディグニティ表というのを作ります。その惑星の置かれているサインの度数は、どの惑星がどのぐらいの強さ（点数）でレシーブ（作用）しているのかを調べます。それによって、惑星の本質や惑星同士この関係性が明らかになってきます。とても重要な作業です。

### ◆事例

惑星	度数	domi +5	exal +4	tori +3	term +2	face +1	detri -5	fall -4	
☉	♈ <sup>21.48</sup>	♄	♂	♀	♂	☉	♃	♋	* domi ドミサイル
♃	♈ <sup>17.25</sup>	♋	-	☉	♀	♃	♀	-	* exal イグザルテーション
♀	♈ <sup>6.31R</sup>	♄	♂	♀	♀	♋	♃	♋	* tori トリプリシティ
♀	♈ <sup>21.54</sup>	♄	♂	♀	♂	☉	♃	♋	* term ターム
♂	♈ <sup>16.16R</sup>	☉	-	☉	♀	♋	♄	-	* face フェイス
♋	♈ <sup>28.41</sup>	♄	-	♄	♂	♃	☉	-	* detri デトリメント
♄	♈ <sup>4.39</sup>	♀	♄	♄	♄	♃	♂	☉	* fall フォール

上の表で、太陽は、山羊の 21.48° にあります。この場所をレシーブしている星を書き出すと以下ようになります。（太陽の行を横に見ていく）

- domi ドミサイル（5点）：土星
- exal イグザルテーション（4点）：火星
- tori トリプリシティ（3点）：金星
- term ターム（2点）：火星

## ◆レシーブ・リセプション

- face フェイス (1点) : 太陽
- detri デトリメント (-5点) : 月
- fall フォール (-4点) : 木星

この場所をレシーブしている惑星は、火星や土星が強く、水星がまったく関与していないことがわかります。太陽と水星はとても縁の薄い関係だということがわかります。

また、マイナス点になっているドミサイルとフォールは、太陽に対して、ネガティブな関係をもつと判断することがあります。

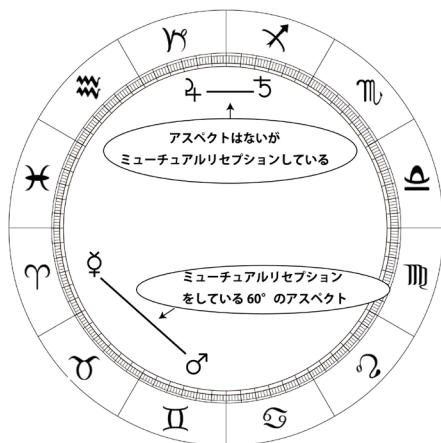
※リセプションとは『レシーブ+アスペクト』のことです。



## ◆ミューチュアルリセプション

### ◆ミューチュアルリセプション

リセプションの中でも、惑星同士がお互いに、リセプションの交換をしているのを、ミューチュアルリセプションと言います。これは惑星同士が特別に強い結びつきしている組み合わせとなります。交換は、ドミサイル、イグザルテーションの惑星同士で、お互いレシーブし合っているのを探します。



例えば、牡羊のサインに水星があり、双子のサインに火星があるとき、水星と火星はミューチュアルリセプションをしていることとなります。

牡羊のサインのドミサイルは火星です。

その火星が双子のサインにあります。

双子のサインのドミサイルは水星です。

その水星が牡羊のサインにあります。

このように、お互いが相手のサインに入ってドミサイルの惑星を交換し合っていることがわかります。

そして、60度のアスペクトを作っていたら、この火星と水星は相当強い結びつきがあると判断します。

## ◆ミューチュアルリセプション

また、図の木星と土星は、アスペクトがなくても、ミューチュアルリセプションをしています。

土星が射手のサイン、

木星が山羊座のサイン。

隣同士のサインはアスペクトしませんが、ミューチュアルリセプションとなっているので、この二つの惑星の結びつきは強いと判断します。

ルーラー（ドミサイル）同士ではなく、イグザルテーションでも同じように考えます。イグザルテーションとドミサイルの関係でもミューチュアルリセプションと判断します。

恋愛の質問の場合は、レッサーディグニティ（トリプリシティ、ターム、フェイス）に同じ惑星が入り、合計点数がプラス5点以上になっていたら、ドミサイルやイグザルテーションと同じような解釈をすることがあります。

マイナスの、デトリメントやフォールでの交換は、**ネガティブなミューチュアルリセプション**といい、ネガティブな作用を強くもたらす関係とみることがあります。また、病気の原因を探るときなどにも注目することがあります。

## ◆デソシエートアプリケーション

### ■デソシエート・アプリケーション Dissociate (分離) Application

惑星同士の度数ではアスペクトをしていますが、サインがアスペクトをしていない状態のものは、アスペクトとして認めない、というルールがありました。しかし、やがて惑星が進行して正確なアスペクトを形成するとき、サインを移動して完成されるものがあり、これを、『デソシエート・アプリケーション』と呼んでいます。

この方法は、17世紀に一般的に使われた方法で、ウィリアム・リリーも鑑定に取り入れていました。



この図では、月と木星は、角度的には約8°差なので、60度のアスペクトを作っているように見えますが、実際はサインが違うのでアスペクトには数えません。

しかし、動きの速い月はこの時点で25°、サインを越える直前にあります。木星は天秤のサインの3°40′のところであり、月と木星が60°の角度を形成するまで、あと約8°となります。

月のオーブは12°、木星のオーブは9°、角度だけ見れば、60°のアスペク

## ◆デソシエートアプリケーション

トを作ろうとしています。

『デソシエートアプリケーション』とは、このようなサイン移動に伴うアスペクトの組み合わせのことですが、オーブはサインを越えてまで作用しないと解釈することがあります。しかし、質問の内容によっては、サインを越えてオーブを考慮することもあります。

例えば、不動産関係の質問で、これから借りようとしている物件の状態を判断するには、今現在の4ハウスのロードの状況を読み取ることになりますので、4ハウスのロードが動いて次のサインに入るのを観察する必要性はありません。なぜならば家は動かないものだからです。

しかし、仕事を示す10ハウスのロードが、あるサインの端にあり、移動して次のサインに入ろうとしている場合、それは仕事に変化のある印と読みます。

この様に質問によって、判断がその都度変わってくるのが、ホラリー占星術の難しいところですが、よく現実の状況を考慮すれば、お分かりになると思います。

伝統的な教科書には、サインは天の家を表すと書かれていて、そこには壁があると見なしています。つまり、サインとサインの境目には、目に見えない絶縁体のような境界があるとイメージすることができます。

その境目を跨ぐことによって、アスペクトの影響力が弱まったり、何らかの障害を乗り越えて目的を達成させる結果になることがあります。実際の鑑定

## ◆デソシエートアプリケーション

では、こういった星の動きを注意深く観察していく必要があります。

例外として、コンバストはサインを越えて作用しませんが、アンダー・ザ・サンビームスはサインを越えて作用してきます。なぜならば、それらは光ではなく熱の作用だと捉えると理解できます。

とにかく、惑星がサインを越える場合は、隣の家ドアを開けて、その家に入っていきようなものなのです。隣の家に入ってどのように惑星が変化していくかは、リセプションやアスペクトなどを合わせて読んでいくことになります。



## ◆トランスファー・オブ・ライト

惑星は、他の惑星の光を運ぶ『トランスファーオブライト』という動きをする時があります。これは、本来ならアスペクトは作られない場所にある惑星に対して、光を運んでいる惑星がアスペクトをすることによって、その光をとどけ、アスペクトが作られないはずの惑星同士の間に入介入して、アスペクトを完成させる動きのことですが、この惑星の動きを見つけるのには、少し練習が必要です。

アスペクトが作られないとは、惑星同士の角度が 30 度や 150 度の場所にある場合は、アスペクトしていたが惑星がセパレートしているような場合です。

◆トランスファー・オブ・ライトには、

『Ⅰ型』

『Ⅱ型』

という二つのスタイルがあります。

◆惑星が光を運ぶにはリセプションがあることが条件です。

(※月だけは無条件に光を運ぶ)

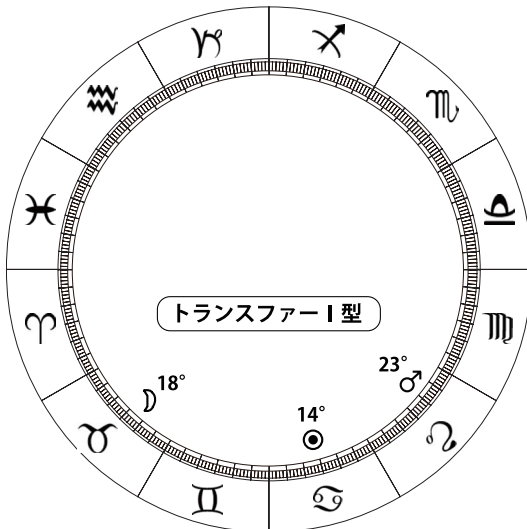
※ホラリー占星術は、この技術を身に着けていなければ、チャート図の見落としにつながり判断を誤ります。

次にやる『コレクションオブライト』と同様、非常に重要な技術です。

# ◆トランスファー・オブ・ライト

## I 型

【I 型】



太陽：蟹のサイン 14 度  
月：牡牛のサイン 18 度  
火星：獅子のサイン 23 度

太陽と火星は 30 度のところに位置しているので本来はアスペクトはない。  
しかし月が太陽の光を運び火星に届ける。  
太陽と火星のアスペクトが完成される。

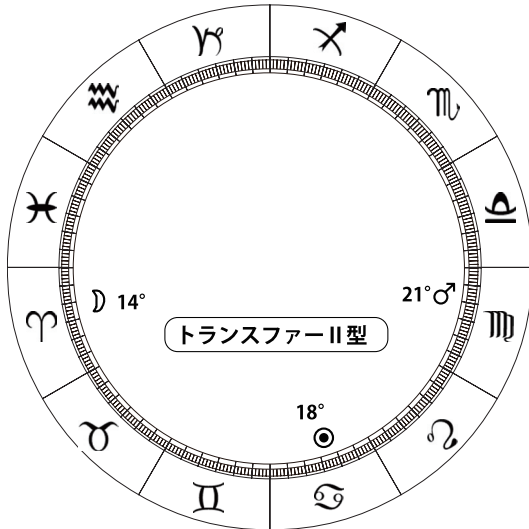
### ●トランスファーオブライトの順序

- ①月は太陽と 60 度のアスペクトからセパレートしている。
- ②月はこの時太陽の光を持っている。
- ③太陽の光を持った月はやがて火星と 90 度のアスペクトをする。
- ④この時、火星と月と太陽のアスペクトが完成する。
- ⑤火星と太陽は 30 度の位置にいるのでアスペクトがないように見えるが、月のトランスファーオブライトによって、アスペクトが完成される。



# ◆トランスファー・オブ・ライト II型

## 【II型】



太陽：蟹のサインで 18 度  
月：牡羊のサインで 14 度  
火星：乙女のサインで 21 度

月と木星は 150 度に位置しているので本来はアスペクトしない。  
しかし月が太陽とアスペクトしたときに自分の光を預ける。  
月の光を預かった太陽は、やがて木星と 60 度のアスペクトを作る。  
この時月と木星はアスペクトが完成される。

### ●トランスファーオブライトの順序

- ①月が太陽に 90 度でやがてアスペクトする。
- ②太陽と木星も 60 度でアスペクトをやがて作る。
- ③月と太陽のアスペクトの方が先に作られる。
- ④月はこの時、太陽に自分の光を渡す。
- ⑤月はこのとき抜け殻になる。
- ⑥月の光を持った太陽はそのまま木星とアスペクトを作る。
- ⑦月と木星は 150 度の角度で本来はアスペクトしないが、太陽によって月と木星のアスペクトが完成する。
- ⑧太陽がトランスファーオブライトの仲介役になっている。

# ◆トランスファー・オブ・ライト

## I型・II型の矛盾

### ◆I型とII型の矛盾

非常に混乱するのは、惑星が光を運ぶのか預けるのか？の違いです。

I型は、チャート図を立てた時、すでに月が太陽とのアスペクトを終えており、この時点で太陽の光を持っていると判断すること。

II型は、これから月が太陽にアプローチしアスペクトをするが、その時、太陽に自分の光を預けると判断すること。

惑星の流れからすると、I型は、動きの速い惑星が他の惑星とアスペクトした時に光を預かるイメージが作られるので、II型の時も、月が太陽の光を持って行くのではないかと考えてしまうことです。

II型に合わせると、I型は月が太陽とアスペクトしたときに太陽に光を預けているのではないかと考えてしまうことです。

これは、かなり混乱します。

●I型のように、月と太陽のアスペクトがすでに作られている状態でチャート図が出た場合、月が太陽の光を持っていると判断します。

●II型のように、これから月が太陽にアスペクトをする状態でチャートが出た場合は、月が太陽に光を預けると判断します。

今の時点では、このように惑星の動きと光を預けるルールが矛盾した状態で覚えるしかありませんが、今後古典占星術の解明が進んでいくことで、正しい判断が発見されることを待ちたいと思います。

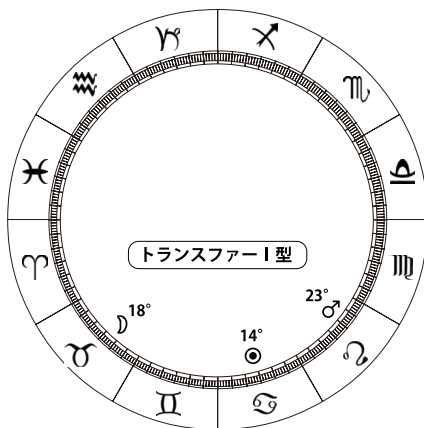
# ◆トランスファー・オブ・ライト 条件

## ◆光を運ぶ条件

惑星が別な惑星の光をあずかる場合、惑星同士の間にはリセプションがあることが条件です。ここでのリセプションとは、レシーブのことです。

しかし、月だけは無条件で光を運びます。

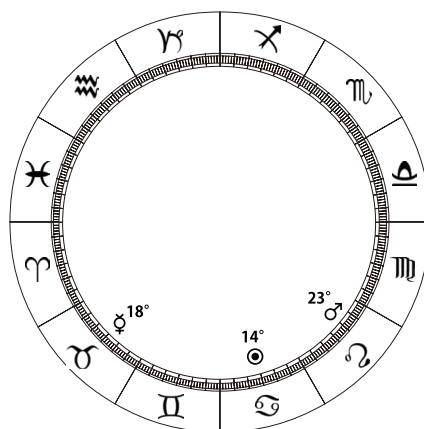
リセプションあり①



この図の場合、I型のものですが、太陽が蟹のサインにあり  
月が太陽をレシーブしています。  
リセプションがあるので、光を運びます。

※月は無条件で光を運びますが、  
さらにリセプションがあるので大  
喜びで太陽の光を運ぶようなイメージです。

リセプションあり②



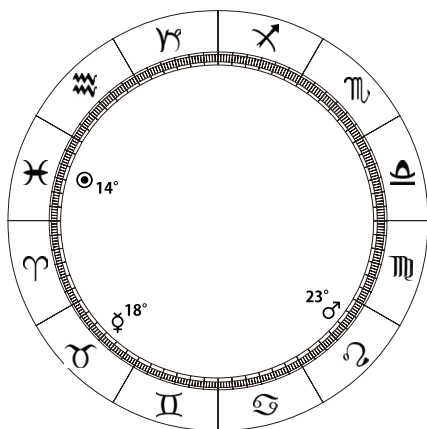
それでは、牡牛のサイン 18 度に、  
月ではなく水星がある場合、  
水星は太陽の光を運ぶでしょうか？

水星は太陽からレシーブされていませんが、  
太陽のある蟹のサイン 14 度は、水星がター  
ムとフェイスでレシーブしています。

リセプションがあるので、  
水星は太陽の光を持っています。

## ◆トランスファー・オブ・ライト 条件

リセプションなし①

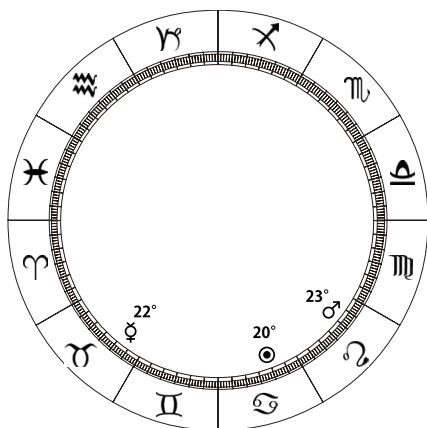


しかし、もし太陽が魚のサイン 14 度にあった場合、水星は太陽の光を持つことができるでしょうか？

水星は牡牛のサイン 18 度なので、太陽のレシーブはありません。太陽は魚のサイン 14 度です。水星のレシーブはありません。

太陽も水星もリセプションがないので、トランスファーは成立しません。

リセプションなし②



水星は牡牛のサイン 22 度であり、太陽のレシーブはありません。

太陽は蟹のサイン 20 度であり、水星のレシーブはありません。

水星と太陽の間にリセプションがないので、光の受け渡しは行われません。

トランスファーオブライトはなされません。

光の受け渡しは、このようにリセプションがあるかないかがとても重要となってきます。その際、ドロセウスのトリプリシティーの表も必ず確認する必要があります。わずかでもリセプションがあれば光は受け渡しができます。

## ◆トランスファー・オブ・ライト 条件

また、リセプションの確認は、アスペクトが作られた時の度数をみます。

I型の場合は、アスペクトが作られたところまでさかのぼります。

II型の場合は、これからアスペクトが作られる度数まで調べます。

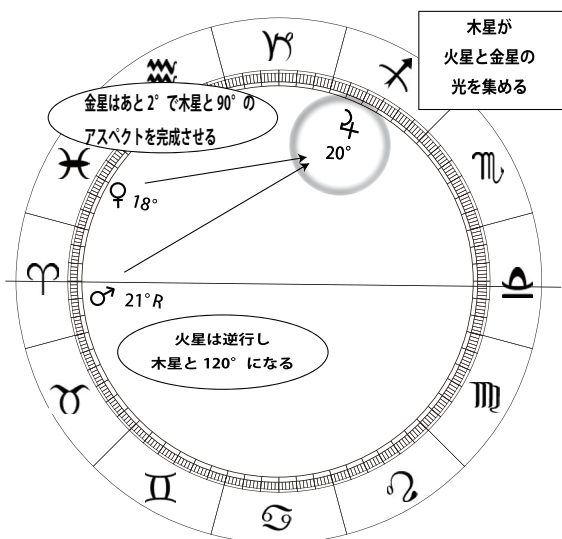
トランスファーオブライトには、まだまだたくさんのルールがありますが、チャート図全体から判断することが大前提のため、光を運ぶ場合と、運ばない場合の判断が微妙に違ってくることがホラリーの場合は多々あります。ここにいくつかのルールの追加を書きますが、あくまでも参考程度に頭に入れて、あとはどれだけ経験を積んでいくかになってくるとおもわれます。

- フォールだと光を運べない。
- コンバストだと光を運べない。
- アスペクトより 12 度以内のコンジャンクションが優先。
- テールとコンジャンクションしても光は失わないが、ちょっとしたトラブルがある可能性あり。
- サインを越えても、オーブの範囲内ならひかりをはこべる。
- 光を運んでいる途中で月とアスペクトしても、月は妨害しない。  
(月は無条件にトランスファーを行う代わりに無条件に妨害しない)
- 惑星の動きが重なるような場合角度差の小さい方を優先。



## ◆コレクション・オブ・ライト

コレクション・オブ・ライトとは、光を集めることでアスペクトの仲介を行う動きのことです。



この図のように、金星と火星は30度のところに位置しているので、アスペクトは作られませんが、金星はあと2度で木星にアスペクトをし、火星は逆行して木星にアスペクトをする動きをします。

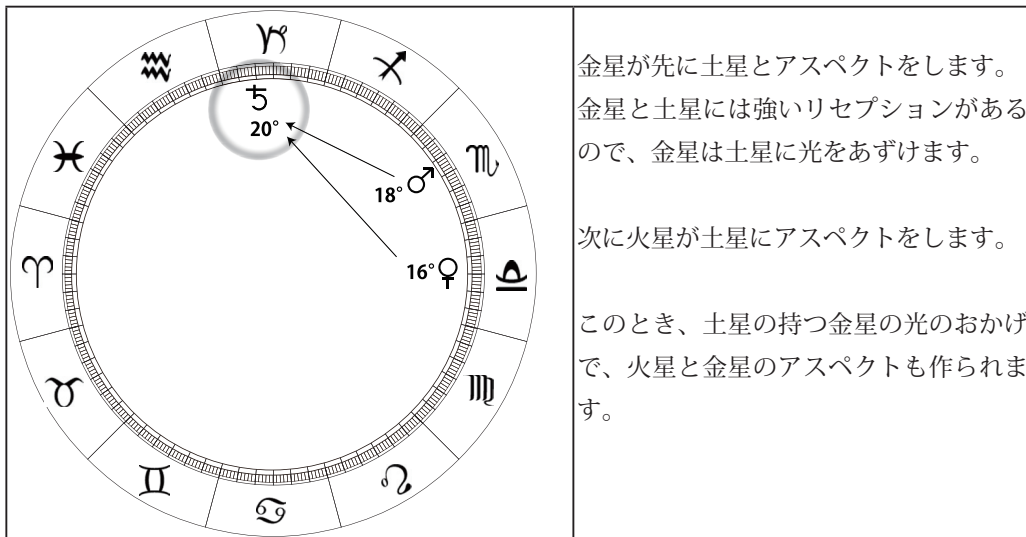
このような時、木星が金星と火星の光を集めてアスペクトを完成させます。この光を集める動きのことを、コレクション・オブ・ライトといいます。

トランスファー・オブ・ライトは、動きの速い惑星が光を運ぶ動きをしましたが、コレクション・オブ・ライトの場合は、動きの遅い惑星が光を集めることが多くあります。

(※時には動きの速い惑星が集めることもあります)

## ◆コレクション・オブ・ライト

コレクションの場合も、光を集めるにあたっては、惑星同士のリセプションが必要です。



上図のように、火星と金星は 30 度の場所に位置しているので本来はアスペクトしませんが、土星のコレクションによって、金星と火星と土星のアスペクトが完成します。

コレクションの場合、惑星の動きは、これからアスペクトをし、光をあずける形のトランスファーⅡ型と同じです。

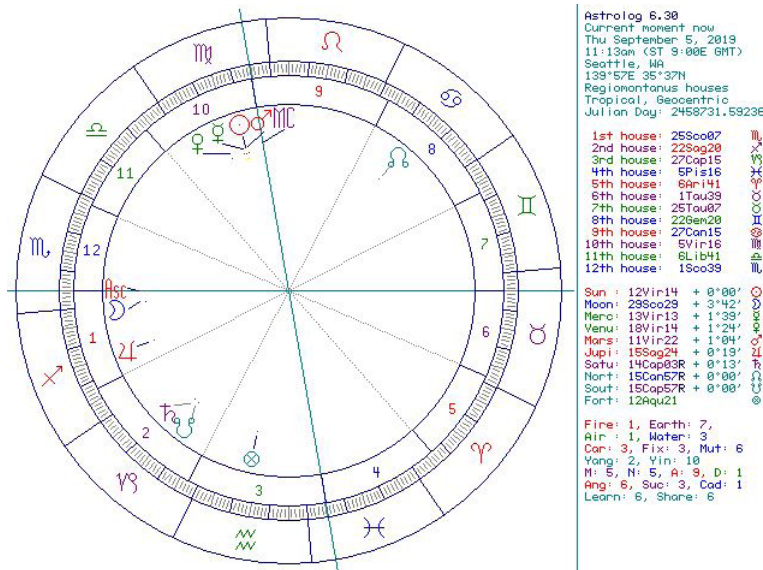
トランスファーの場合は、光をあずかった惑星が動いてほかの惑星とアスペクトをし、あずかった惑星の光を結びつけますが、

コレクションの場合は、光をあずかった惑星がそこにとどまって、ほかの惑星がアスペクトしてきたときに、惑星同士を結び付ける形となります。



## ◆ 12度以内のコンジャンクション優先

アスペクトとコンジャンクションは、正確には別ものです。  
 アスペクトは見るとか眺めるという意味で、コンジャンクションは結合です。  
 もしチャート図で、12度以内にコンジャンクションしている惑星がある場合、コンジャンクションの方が結びつきが強いため、そこにアスペクトが介入できないという法則があります。



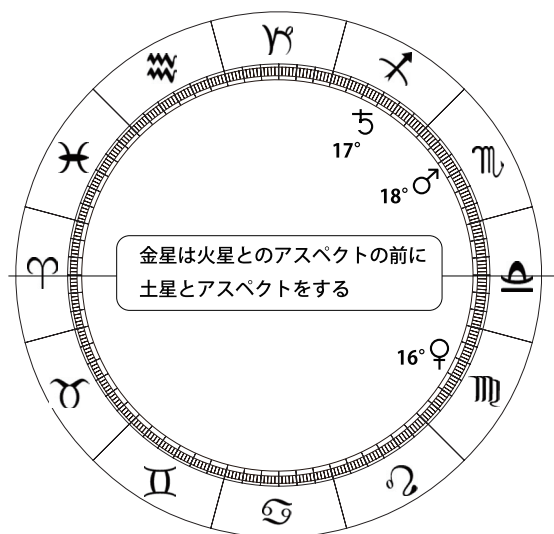
例えばこのようなチャート図が出た場合、乙女のサインにある火星（11度）、太陽（12度）、水星（13度）は、射手のサインにある木星（14度）や、山羊のサインにある土星（15度）と、角度的には順にアスペクトを作っていきます。しかし、この場合はコンジャンクションを優先するので、木星や土星は、乙女のサインで起きているコンジャンクションの惑星たちの間に割って入ることができません。このコンジャンクションしている惑星たちが、12度以上離れれば、アスペクトも可能となります。

## ◆惑星の妨害

アスペクトを作ろうとしている惑星同士の間割って入って、邪魔をする形になる動きをする惑星があります。これを、『妨害』といいます。

トランスファーやコレクション時なども、リセプションがない場合、『妨害』となることが多くあります。

『妨害』の呼び方は、プロヒビジョン（禁止）、ブロッキング（通行止め）、バーニング（通行阻止）といった言い方があるようです。

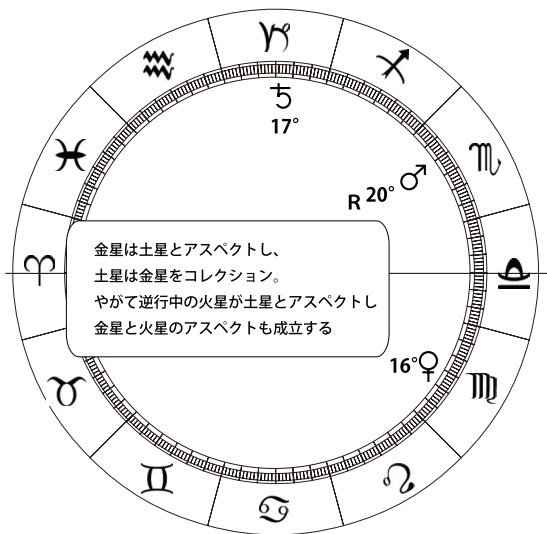


上の図は、火星と金星の間にアスペクトがあると、物事が動くとした場合の図です。しかし、金星は、火星とアスペクトする前に土星とアスペクトし、土星は、金星と火星のアスペクトの間に割って入ってきています。

金星と火星のアスペクトは土星によって妨害されているパターンです。

## ◆コレクションと妨害の見分け

妨害にならず、コレクションしてくれる場合。

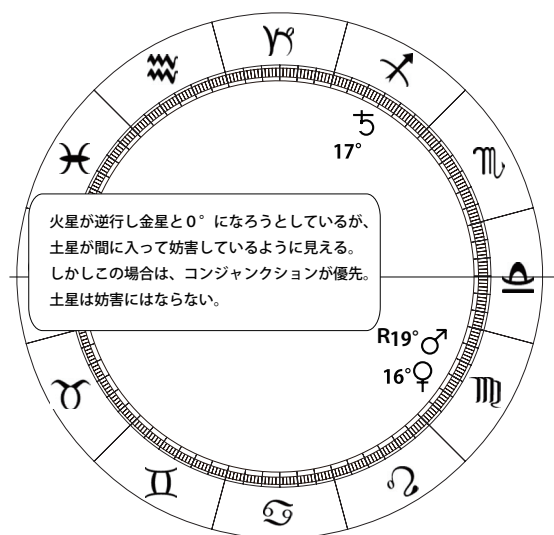


まずはじめに、金星が土星とアスペクトし、  
その後、逆行している火星が土星とアスペクトする。  
土星は山羊のサインにあるので、金星とリセプションがある。  
土星は金星の光をコレクションしているので、  
火星が土星とアスペクトしたときに、  
火星と金星のアスペクトも成立する。

コレクションと妨害は、間違いやすい。

## ◆妨害にならないコンジャンクション

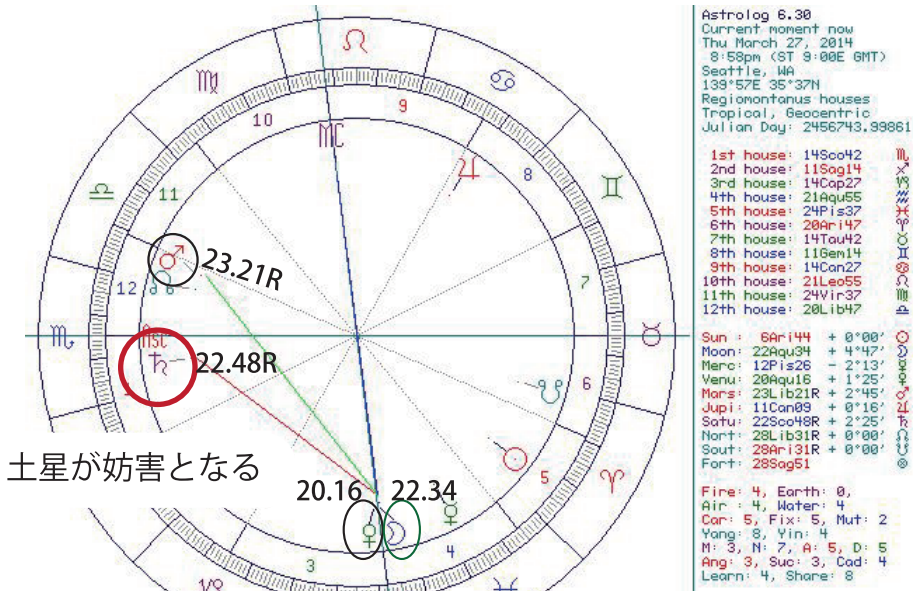
アスペクトより、コンジャンクション（12度以内）が優先されるというルールがあります。



上図は、アスペクトの順番から言えば、金星が土星と先にアスペクトをするが、アスペクトよりコンジャンクションが優先されるというルールに則ると、金星と火星の間に土星は割って入ることができない。なので、この場合の土星は、プロヒビジョンにならない。

## ◆妨害の事例

### ◆妨害の事例①



月が金星の光を運んでいるが、火星とアスペクトする前に土星に行く

例えばこの図は、恋愛の質問で、カレントの火星と、相手の金星がアスペクトをすれば、お付き合いが始まるといった場合とします。

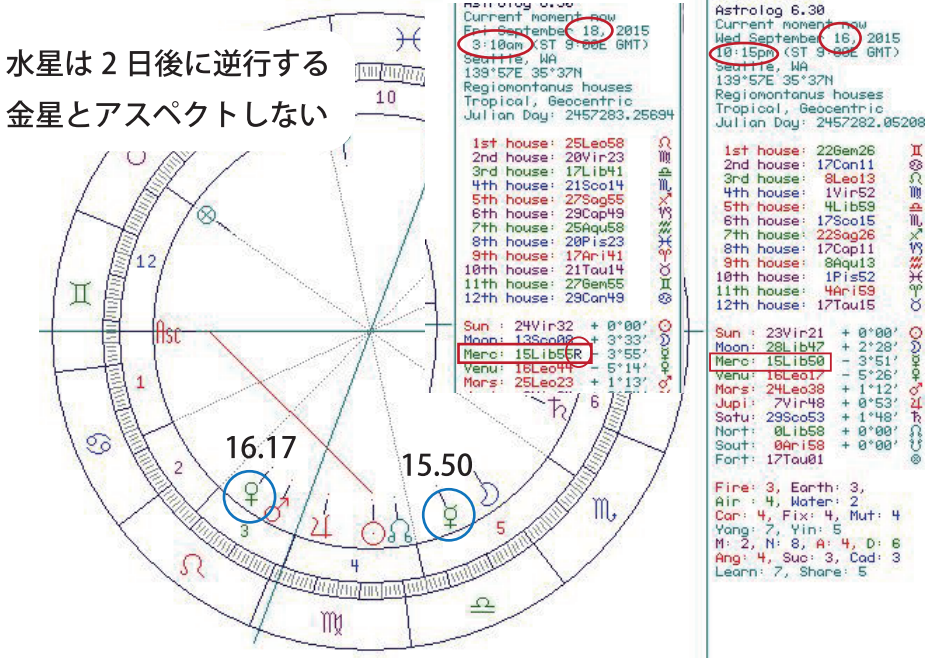
- ①火星は天秤のサイン 23 度 21 分で逆行しています。
  - ②金星は水瓶のサイン 20 度 16 分にいます。
- 4 前方 22 度 34 分のところに月があり、金星からセパレートしています。
- ④月が金星の光を運んでいる状態です。(トランスファー I 型)
  - ⑤月は、火星とアスペクトする前に、蠍のサイン 22 度 48 分にある土星に行きます。
  - ⑥土星は、月と金星をコレクションできますが、火星と土星のアスペクトはありません。

※土星が妨害している状態になります。



## ◆フラストレーション

アスペクト直前の逆行や、サインが変わることで意味が生まれるはずだったのに、サイン移動直前で逆行するなど、逆行によって意味や縁が損なわれてしまうことをいいます。



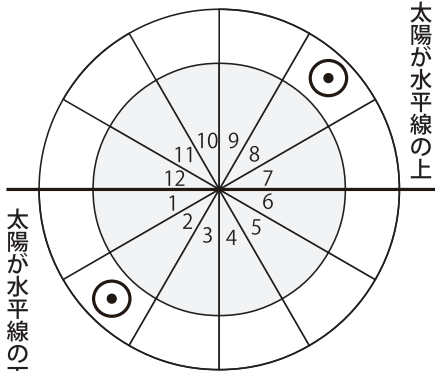
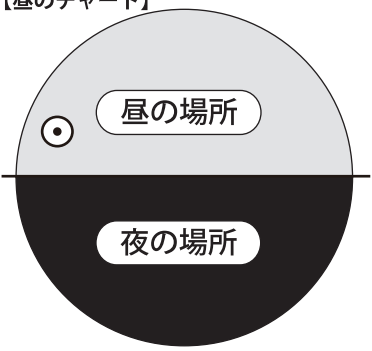
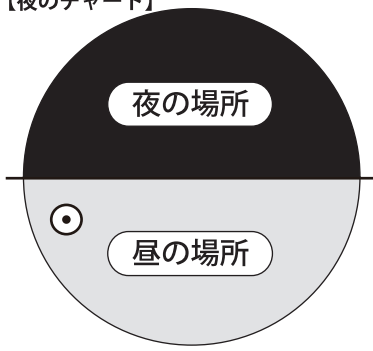
上の図は、水星と金星があと1度でアスペクトをするのですが、直前で水星が逆行しアスペクトが完成されない図です。

エフェメリスで確認すると2日後に水星は逆行します。

もしこの図の質問が、私は妊娠してますか？といった場合、アセンダントのロード（水星）と5ハウスのロード（金星）にアスペクトがあれば、妊娠している可能性を示しますが、水星が向きを変えてしまうので妊娠の可能性が低くなります。

## ◆昼のチャート・夜のチャート

### ◆昼のチャート・夜のチャート

<p>【昼のチャート】</p>  <p>太陽が水平線の上</p> <p>太陽が水平線の下</p> <p>【夜のチャート】</p>	<p>太陽が水平線の上にあるチャートを昼のチャートと呼びます。</p> <p>太陽が水平線の下にあるチャートを夜のチャートと呼びます。</p>
<p>【昼のチャート】</p>  <p>昼の場所</p> <p>夜の場所</p> <p>昼のチャートは 水平線上が昼の場所、 水平線の下が夜の場所、 となります。</p>	<p>【夜のチャート】</p>  <p>夜の場所</p> <p>昼の場所</p> <p>夜のチャートは 水平線下が昼の場所、 水平線の上が夜の場所、 となります。</p>



## ◆ 昼の惑星・夜の惑星

### ◆ 昼の惑星（ダイアーナル）・夜の惑星（ノクターナル）

<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; background-color: #e0e0e0; width: 40%;"> <p style="text-align: center;"><b>夜</b></p> <p style="text-align: center;">☾ ♀ ♂</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 40%;"> <p style="text-align: center;"><b>昼</b></p> <p style="text-align: center;">☉ ♃ ♄</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p style="text-align: center;">♀ → ☉ 太陽より後ろ</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%;"> <p style="text-align: center;">☉ → ♀ 太陽より前</p> </div> </div>	<p>惑星にとっては、 太陽のある側が昼、 太陽のない方が夜 の場所と判断します。 (太陽が水平線の下にある場合でも、 太陽のある方が昼となります。)</p> <p>月・金星・火星は、夜の惑星なので、 太陽のない方を喜び、</p> <p>太陽、木星、土星は、昼の惑星なので、 太陽のある方を喜びます。</p> <p>水星だけは特別で、 太陽より後ろにいる場合は夜。 太陽より前にはる場合は昼 の場所を喜びます。</p>
---	---

## ◆オリエンタル・オキシデンタル

オリエンタル（東）は、太陽より後の場所を意味し、  
オキシデンタル（西）は、太陽より前の場所を意味します。



太陽が離れてくれると惑星は輝けるということを基本とした考えなので、  
太陽より動きの遅い惑星は、オリエンタルが良いとされ、  
太陽より動きの速い惑星は、オキシデンタルが良いとなります。

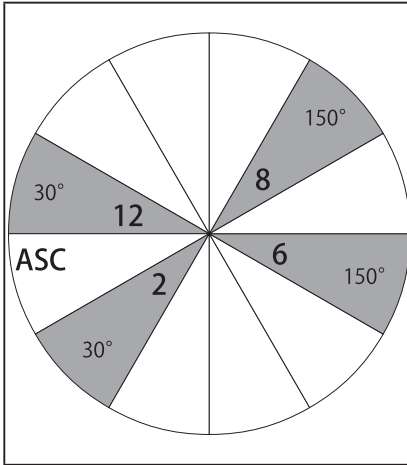
惑星が逆行している場合は、判断が逆になることがあるので、必ずエフェメ  
リスの確認が必要です。

アクシデンタルディグニティでは、プラスマイナス2点の評価がされます。

## ◆アバーションと反射

### ◆アセンダントからアスペクトしないハウス

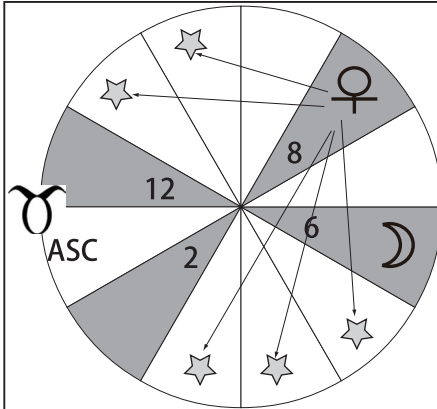
アバーションとは、嫌悪という意味があります。30度と150度はアスペクトが作れないことから認識不足といった解釈をします。



アセンダントから、30度に位置する、2ハウスと12ハウス、アセンダントから150度に位置する6ハウスと8ハウスは、アセンダントからアスペクトが作れないので見えないハウスとなります。

アセンダントのロードがアバーションのハウスに入っていると、共同表示星の月をアセンダントのロードとして優先的に見る場合があります。

### ◆反射



アセンダントのロードや共同表示星としての月が、アバーションのハウスに入っている場合、アセンダントから見えるハウスにある惑星とオーブ内でアスペクトを作っていれば、その惑星によって反射されアセンダントのロードの役割を果たせます。

時には、アセンダントのロードも共同表示星の月もアバーションのハウスに入っていることがあります。そして、どちらの惑星も反射を行っていない場合は、チャートの判断を慎重に行う必要があります。



この実践マニュアルテキストは、ホラリー鑑定をする際、私自身が判断の誤りや見落としがないかを確認するためのアンチョコ用に作り始めたものです。ですので、初心者の方には、専門用語などがわかりにくい点が多々あるかと思います。

じっくり勉強をしたい方は、クニ河内先生のコースを受講するか、書籍を購入されることをおすすめします。書籍はアマゾンで購入できます。

「愛のホラリー占星術」

「星の階梯Ⅰ」

「星の階梯Ⅱ」

(星の階梯Ⅲも出る予定だそうです。)

この中で、なかなか理解しにくいのが、「トランスファー・オブ・ライト」や、「コレクション・オブ・ライト」や、それらのアスペクトを妨害するものがあるなどかと思いますが、これは経験を積んでいくしかありません。

ホラリー鑑定は、アスペクトのあるなしがとても重要です。惑星の動きをしっかりと把握できないと、判断に誤りが生じます。その練習を独学でやりたい方向けにこのテキストは作りましたので、そんな方たちのお役に立てば幸いです。

※私は2015年から2018年の約三年間、クニ河内先生の講座をすべて受け、実践で分からない部分などの相談もしていました。その内容を基にこのテキストは作成していますが、その後の鑑定技法の変化については学んでおりません。このホラリー占星術は古典占星術に基づいていますが、古典占星術の研究は、日進月歩すすめられています。それに従い、鑑定方法も進化している可能性がありますこと、ご理解の上ご利用ください。

2021年2月19日

ありがとうございました。

関川真瑰（せきかわしんかい）



自力開運クラブ

関川真瑰

Shinkai Sekikawa

<http://www.uranaishool.com/>